

## エラータ

『横浜経営研究』第38巻第3・4号(2018年3月15日発行)の以下の論説  
 谷地 弘安「要求工学における要求獲得技法—技法間関係に着目した要求獲得フレーム」の参  
 考文献が欠落しておりましたので、下記のとおり訂正いたします。

### 参 考 文 献

- 土井晃一・蓬萊尚幸・渡部勇・片山佳則・園部正幸 [2003] 「要求獲得会議を分析することによるユーザ指  
 向要求獲得法」『情報処理学会論文誌』第44巻第1号, 48~58ページ。
- 郷健太郎・Carroll, J.M.・今宮淳美 [2000] 「ユーザの視点を取り入れる技術—システム開発におけるシナリ  
 オの役割」『情報処理』第41巻第1号, 1~6ページ。
- 林 浩一 [2011] 『ITエンジニアのロジカル・シンキング・テクニク 新装版』日経BP社。
- 鎌田真由美 [2008] 「要求工学の現状と課題」『情報処理』第49巻第4号, 347~356ページ。
- 加藤文俊 [2016] 『会議のマネジメント—周到な準備, 即興的な判断』中公新書。
- 川喜田二郎 [1967] 『発想法—創造性開発のために』中公新書(新装版2017年)。
- 川喜田二郎 [1970] 『続・発想法—KJ法の応用と展開』中公新書。
- 木下康介・山下和希・中道上・青山幹雄 [2012] 「ステークホルダを中心とするゴール分析方法の提案」『情  
 報処理学会第74回全国大会予稿集』383~384ページ。
- 倉田学(くらたまなぶ) [2006] 『リクルート「創刊男」の大ヒット発想術』日経ビジネス人文庫。
- 久代紀之・大澤幸生 [2006] 「多次元ヒアリングと階層的な要求統合プロセスによる要求獲得手法」『情報処  
 理学会論文誌』第47巻第10号, 2909~2916ページ。
- 三部良太・河合克己・竹内拓也・石川貞裕・福士有二 [2008] 「Webアプリケーションのユースケース駆動  
 プロトタイプによる要求獲得方法」『情報処理学会論文誌』第49巻第4号, 1669~1679ページ。
- 水田哲郎 [2011] 『手戻りなしの要件定義実践マニュアル』日経BP社。
- 本園明史 [2006] 『要求定義のエグザサイズ136』翔泳社。
- 野中郁次郎・紺野登 [2003] 『知識創造の方法論—ナレッジワーカーの作法』東洋経済新報社。
- 野中誠・東基衛 [2014] 「ソフトウェア非機能要求の定義—品質の良いソフトウェアを作るために」『情報処理』  
 第55巻第1号, 31~37ページ。
- Osborn, A.F. [1979] "*Applied Imagination : Principles and Procedures of Creative Problem-Solving* : 3rd  
 Revised". Charles Scribner's Sons.
- Project Management Institute [2013] "*A Guide to the Project Management Body of Knowledge : PMBOK  
 Guide* : 5th edition", Project Management Institute.
- Reynolds, T.J., J. Gutman [1988] "Laddering Theory, Method, Analysis, and Interpretation", *Journal of  
 Advertising Research*, Vol.28, No.1, pp.11-31.
- 劉功義, 横山真一郎, 石井信明, 田村智幸, 牛島一朗, 中村直人, 酒巻弘晃, 加藤俊, 木野泰信, 河合一夫,  
 日下部裕美 [2008] 「ステークホルダ価値を基にしたRFP評価モデルと活用方法の提案」『プロジェク  
 トマネジメント学会春季研究発表大会予稿集』427~432ページ。
- 佐川博樹 [2010] 『システム開発者のための要求定義の基本と仕組み(第2版)』秀和システム。
- 新原敦介, 河野仁一, 海谷治彦, 佐伯元司 [2004] 「ゴール指向要求分析を用いたステークホルダの対立の  
 検出」『情報処理学会研究報告ソフトウェア工学』第30号, 99~106ページ。
- 高橋誠 [2008] 『会議の進め方』日経文庫。
- 玉井哲雄 [2004] 『ソフトウェア工学の基礎』岩波書店。
- 妻木俊彦 [2012] 「要求工学—現実と仮想をつなぐために」『コンピュータ・ソフトウェア』第29巻第2号,  
 43~64ページ。
- 上田拓治 [2010] 『マーケティング・リサーチの論理と技法 第4版』日本評論社。
- 上野啓子 [2004] 『マーケティング・インタビュー—問題解決のヒントを「聞き出す」技術』東洋経済新報

社.

谷地弘安 [2012] 『「コト発想」からの価値づくり—技術者のマーケティング思考』千倉書房.

谷地弘安 [2016] 『IT産業における「システム開発」の要求獲得問題—BtoBにおける顧客リサーチ研究にむけて』『横浜経営研究』第37巻第1号, 219~234ページ.

谷地弘安 [2017a] 『技術者のためのマーケティング—顧客価値の構想と戦略』千倉書房.

谷地弘安 [2017b] 「要求獲得の捉え方—問題認識とソリューションに向けて」『横浜経営研究』第38巻第1号, 83~100ページ.

山本修一郎 [2004] 「要求工学の概要」『月刊ビジネスコミュニケーション (NTT)』10月号 (参照対象はネット版 <http://www.bcm.co.jp/site/2004/2004Oct/04-youkyuu-kougaku-10/04-youkyuu-kougaku-10.htm>).

山本修一郎 [2005a] 「要求工学プロセス」『月刊ビジネスコミュニケーション (NTT)』2月号 (参照対象はネット版 <http://www.bcm.co.jp/site/2005/2005-02/05-youkyuu-kougaku-02/05-youkyuu-kougaku-2.htm>).

山本修一郎 [2005b] 「要求抽出」『月刊ビジネスコミュニケーション (NTT)』3月号 (参照対象はネット版 <http://www.bcm.co.jp/site/2005/2005-03/05-youkyuu-kougaku-03/05-youkyuu-kougaku-03.htm>).

山本修一郎 [2005c] 「シナリオ分析」『月刊ビジネスコミュニケーション (NTT)』10月号 (参照対象はネット版 <http://www.bcm.co.jp/site/2005/2005-10/05-yokyu-10/05-yokyu-10.html>).

山本修一郎 [2005d] 「ゴール分析」『月刊ビジネスコミュニケーション (NTT)』12月号 (参照対象はネット版 <http://www.bcm.co.jp/site/2005/2005-12/05-yokyu-12/05-yokyu-122.html>).

山本修一郎 [2006a] 「iスター・フレームワーク」『月刊ビジネスコミュニケーション (NTT)』1月号 (参照対象はネット版 <http://www.bcm.co.jp/site/youkyu/youkyu15.html>).

山本修一郎 [2006b] 『要求を可視化するための要求定義・要求仕様書の作り方』ソフト・リサーチ・センター.

渡辺幸三 [2003] 『業務システムのための上流工程入門』日本実業出版社.

Weidenhaupt, K., K. Pohl, M. Jarke, and P. Haumer [1998] "Scenarios in System Development : Current Practice", *IEEE Software*, March-April, pp.34-45.